

第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日 時：平成28年10月28日（金）10：30～12：00
場 所：野村胡堂・あらえびす記念館
あらえびすホール

次 第

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) いわて環境の森整備事業の施工地審査について
 - (2) 森林環境税に係る他県調査の結果について
- 3 その他
- 4 閉 会

いわての森林づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(平成28年7月14日現在)

氏名	役職名等	備考
大粒来 宏 美	有限会社丸大県北農林 取締役	
岡 田 秀 二	富士大学 学長	
小山田 四 一	一戸町立図書館 館長	
國 崎 貴 嗣	岩手大学農学部（環境科学系） 准教授	
佐 藤 重 昭	徳清倉庫株式会社 代表取締役	
佐 藤 誠 司	岩手県商工会議所連合会 盛岡事務局長	
安 原 昌 佑	岩手県保護司会 河南分区長	
吉 田 敏 恵	岩手県消費者団体連絡協議会 常任幹事	
吉 野 英 岐	岩手県立大学総合政策学部 学部長	
若 生 和 江	環境アドバイザー	

(五十音順)

1 委員 10名

2 任期 平成28年7月14日～平成30年7月13日

第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会 県関係出席者名簿

役 職 等	氏 名	備 考
農林水産部 林務担当技監	阿 部 義 樹	欠席
林業振興課 総括課長	佐々木 隆	
技術主幹兼振興担当課長	西 島 洋 一	
主任主査	高 芝 俊 雄	
主任主査	木戸口 佐 織	
主 査	三 上 昭 典	
主 事	山 本 有 美	
森林整備課 技術主幹兼計画担当課長	久 慈 敏	
主任主査	菊 地 明 子	
盛岡広域振興局林務部 林業振興課長	橋 本 卓 博	
盛岡広域振興局林務部 主任主査	土 橋 浩	
盛岡広域振興局林務部 主 査	真 木 賢 二	
盛岡広域振興局林務部 いわて環境の森整備推進員	小 林 静 夫	
盛岡広域振興局林務部 いわて環境の森整備推進員	藤 田 隆 二	
県南広域振興局林務部 主 査	赤 座 直 輝	
花巻農林振興センター 主任行政専門員	照 井 重 光	
花巻農林振興センター いわて環境の森整備推進員	菊 池 継 彦	
沿岸広域振興局農林部 主任主査	松 田 悟	
宮古農林振興センター林務室 技 師	畠 山 智 樹	

平成 28 年度いわて環境の森整備事業 施工地選定審査基準(審査)

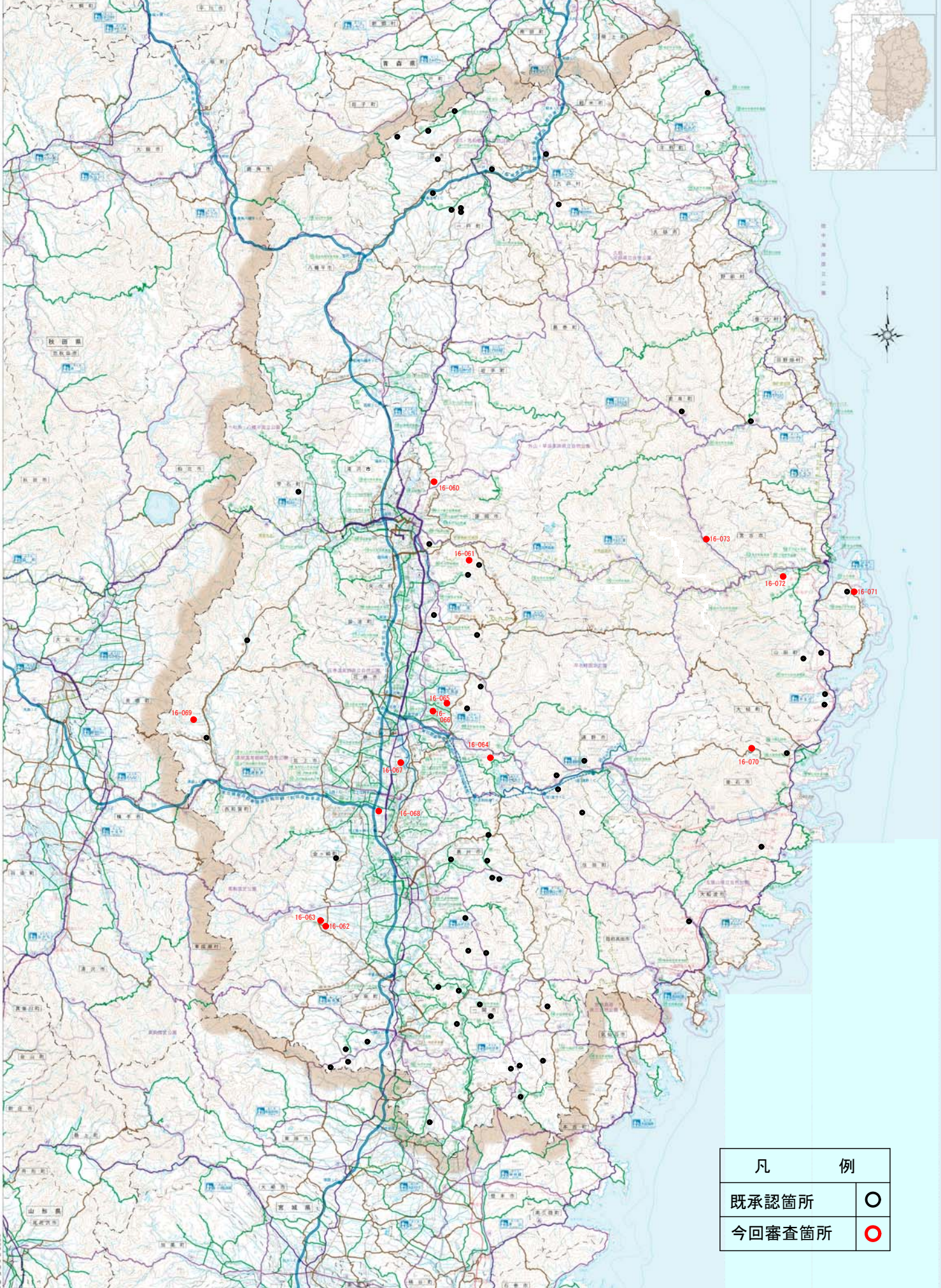
いわて環境の森整備事業の施工地選定審査に当たっては、下表に掲げる基準を満たしているものを適とする。

審査項目		審査基準
森 林 に 関 す る 事 項	事業対象森林	① 私有林であること。
		② 人工林であること。
		③ 公益林であること。 ア 水源地域等の上流域の森林 イ 野生動植物生育の場として重要な森林 ウ 自然林に戻すことによって、景観的な多様性の維持・向上を図るべき森林 エ 上記に準ずる森林
		④ 保安林である場合は、治山事業等で実施することが困難であること。
採択基準		⑤ 対象樹種は、原則として人工林であるスギ、カラマツ、アカマツ等の針葉樹であること。 ただし、アカマツ天然生林においても、地域において保全上重要な森林については、対象とするものとする。
		⑥ 対象齢級は、原則として 4 から 10 齢級であること。 ただし、3 齢級以下及び 11 齢級以上であっても、地域において保全上重要な森林で、本事業の計画に加えるべき森林については、対象齢級として取扱うものであること。
		⑦ 1 施工地の面積は、0.3ヘクタール以上であって、原則として1ヘクタール以上の団地であること。 ただし、団地の考え方(団地性の判断)については、各施工地の相互の間隔が概ね 10 キロメートル以内の範囲であるものとする。(概ね半径 10 キロメートルの円内にすべての施工地が含まれること。)
森林所有者に関する事項		⑧ 協定書の締結に同意していること。 (現時点では口頭による確認)

平成28年度いわて環境の森整備事業施工予定地一覧表(補助)

連番	受付番号		市町村	大字	字	樹種	面積 (ha)	林齢 (年生)	申請者	特記事項
001	16	060	盛岡市	上米内	砂子沢ほか 地内	スギ、カラマツ	4.31	28～50	盛岡広域森林組合	
002	16	061	盛岡市	川目	第6地割ほか 地内	スギ	4.50	47～50	岩手県森林組合連合会	
003	16	062	奥州市	衣川区	衣原ほか 地内	スギ、ヒノキ	5.70	22～40	奥州地方森林組合	
004	16	063	奥州市	胆沢区若柳	中萩森ほか 地内	スギ	8.43	25～50	奥州地方森林組合	
005	16	064	花巻市	東和町	谷内10区ほか 地内	スギ	6.12	26～62	クイック株式会社	スギ 56～62年生 0.52ha
006	16	065	花巻市	東和町	北小山田6区 地内	スギ	1.70	29～60	クイック株式会社	スギ 59～60年生 0.40ha
007	16	066	花巻市	石鳥谷町	五大堂13地割 地内	スギ	1.80	35～49	クイック株式会社	
008	16	067	北上市	成田	1地割ほか 地内	スギ、ヒノキ	7.57	20～54	北上市森林組合	スギ 54年生 0.07ha
009	16	068	北上市	上鬼柳	5地割ほか 地内	スギ、カラマツ	3.32	30～55	北上市森林組合	スギ 53年生 0.31ha、カラマツ 55年生 0.32ha
010	16	069	西和賀町	沢内	前郷 地内	スギ	6.36	34～44	西和賀町森林組合	
011	16	070	釜石市	栗林町	第6地割ほか 地内	スギ、アカマツ、ヒノキ	21.76	22～57	釜石地方森林組合	スギ 51～57年生 1.23ha
012	16	071	宮古市	音部	第7地割ほか 地内	スギ、アカマツ	2.73	37～48	岩手県森林整備協同組合	
013	16	072	宮古市	老木	第9地割 地内	アカマツ	5.27	43	岩手県森林整備協同組合	
014	16	073	宮古市	和井内	第28地割 地内	スギ、アカマツ	2.84	26～48	岩手県森林整備協同組合	
a	今回計		14施工地				82.41			
b	平成28年度既承認面積						282.00			
c	a + b						364.41			

いわて環境の森整備事業施工位置図（平成28年度）



凡 例	
既承認箇所	○
今回審査箇所	●

森林環境税に係る他県調査の結果について

平成 15 年度に高知県が森林環境税を導入して以来、37 の府県で地方税の一つである森林環境税が導入された。

これらの独自課税は、森林の持つ公益的機能の受益者である県民が負担することにより、多様な公益的機能を有する森林環境の維持・増進に資すること等を目的に創設され、府県によって多様な事業が展開されていることから、その状況を調査したもの。

宮崎県（調査日 平成 28 年 8 月 24 日（水））

1 課税制度

(1) 名称・趣旨（条例より）

宮崎県森林環境税（宮崎県森林環境税基金条例）

県土の保全、水源のかん養等県民が享受している森林の有する公益的な機能の重要性にかんがみ、県及び県民等が協働して取り組む森林環境の保全に関する施策に要する費用に充てる。

(2) 創設年度

平成 18 年度

(3) 課税方式

県民税均等割の超過課税 個人：500 円／年、法人：均等割額 5%増

(4) 税 収

3 億円／年

2 事業運営・評価等に係る委員会

(1) 名 称

宮崎県森林環境税活用検討委員会

(2) 審議内容

施策評価、事業審査等

(3) その他

委員 10 名、2 回／年開催

3 事業内容

(1) 県民の理解と参画による森林づくり

- ア 多様な主体による森林づくり（森林ボランティア・企業等による森林づくりの支援
- イ 森林づくりに対する県民の理解促進（森林の公益的機能と税 PR）

(2) 公益的機能を重視した森林づくり

- ア 水を貯え、災害に強い森林づくり（広葉樹造林・針広混交林誘導への間伐等）
- イ 公有林化等による森林の保全
- ウ 森林の生物多様性保全

(3) 資源の循環利用による森林づくり

- ア 県産材利用の普及啓発・PR
- イ 再造林の推進
- ウ 森林バイオマス利用促進

(4) 森林を守り育む次代の人づくり

- ア 木に親しむ乳幼児期に意識づくり
- イ 森林に関心を持つ小中高生・若者の育成
- ウ 森林づくり等に関わる大人の育成

平成 28 年度いわての森林づくり普及啓発事業 (広告物製作)

- 1 横断幕、のぼり旗製作 (横断幕 : 90cm×5m、のぼり旗 : 60cm×1.8m)

900×5000mm



600×1800mm

- 2 掲示イメージ



- 3 参考 (他県事例)



平成 28 年度いわて森のゼミナール推進事業 (森の実践ゼミナール実施状況)

森の実践ゼミナールは、地域における森林環境学習の自発的な取組を推進するため、新たに森林に関わる地域活動を行おうとしている団体や指導者の方々を対象に、その初期段階の活動のサポートを行うための研修会等を開催するもの。

- 1 日時 平成 28 年 10 月 1 日 (土) 10 : 30 ~ 15 : 30
- 2 場所 野村胡堂・あらえびす記念館 あらえびすホール
- 3 内容
 - (1) 講師 森林インストラクター 川村 晃寛 氏
環境アドバイザー 若生 和江 氏
 - (2) 受講 3 地域 (八幡平市、一戸町、奥州市より 3 名)
 - (3) 内容 地域活動を行う候補地として、3 地域の事例発表を踏まえ、森を生かした環境教育をどのように行うか助言を行った。

